

「無電柱化の日」に合わせパネルを展示します

～無電柱化で安全・安心な美しい街づくり～

小樽開発建設部では、「道路の防災性の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」、「良好な景観の形成や観光振興」の観点から、道路上の電柱・電線をなくす無電柱化事業を行い、魅力ある地域の形成を目指し事業を推進しております。

このたび、11月10日の「無電柱化の日」に合わせて、北海道における無電柱化の必要性を知っていただくためにパネル展を開催いたしますので、お知らせします。

1 開催場所

- | | |
|------------------|----------------|
| ① JR小樽築港駅（待合所） | 5：30～翌0：30 |
| ② JR余市駅（待合所） | 終日（24時間開放スペース） |
| ③ JR倶知安駅（待合所） | 5：00～23：50 |
| ④ 道の駅「ニセコビュープラザ」 | 終日（24時間開放スペース） |

※開催期間はいずれも令和2年11月9日（月）から11月19日（木）まで

※最終日の開催時間は13時まで

※詳細は別紙1参照

2 展示内容

無電柱化の目的等についてのパネル展示（別紙2参照）

※ 無電柱化の推進に関する詳細については、以下の北海道開発局ウェブサイトに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000000ioha.html

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

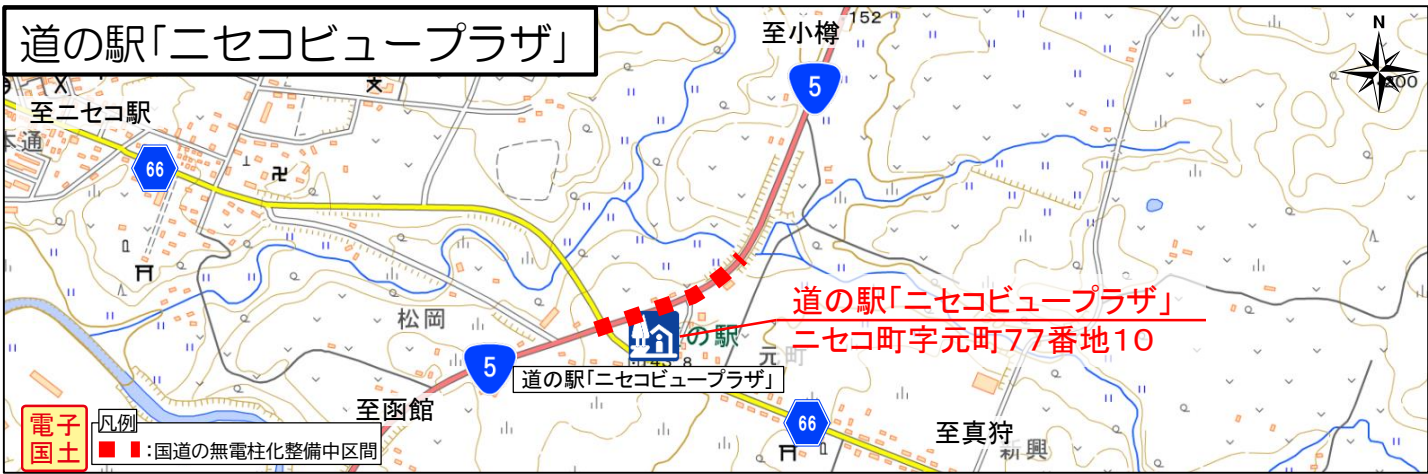
【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

道路計画課長 佐々木 博一（0134-23-5229）

道路計画課長補佐 仲田 田（0134-23-5229）

（小樽開発建設部ホームページ） <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>





「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

この取組は、第8期北海道総合開発計画で掲げた強靱な国土づくりや安全・安心な社会基盤の形成、世界水準の観光地域づくり等に基づき実施しております。

無電柱化で 開放的な 空間へ



国道5号（小樽市稲穂）整備事例

無電柱化とは？

無電柱化とは、**道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興**等を目的に道路上から電柱や電線をなくすことを言います。

北海道開発局では、道路上にある電柱や電線をなくす取り組みを推進しています。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

国土交通省
北海道開発局 小樽開発建設部

道路の防災性の向上



台風による倒壊（国道275号 札幌市）



暴風雪による電柱の倒壊（国道336号 大樹町）

安全で快適な通行空間の確保



通行の障害（国道274号 札幌市）



冬期の通行障害（国道12号 札幌市）

良好な景観の形成や観光振興



羊蹄山の眺望（国道5号 ニセコ町）



余市蒸溜所前（国道229号 余市町）